向井高橋松五郎、本田繁蔵、細岩亥之助、宇野信次郎、柳沢清美、西本孝一、藏中俊重、栗山浅吉、奥貫富太、赤間範一、幸田時雄、内田藤七、佐賀桑若狭春雄、足立政雄、三浦某、島上勝次郎、田中敬吉、益田徳次、沢田善之助、高田裕之助、天土松太郎、土井直作、島津一郎、川合義輝、河田賢治、中西右某、岡本利吉、松岡駒吉、佐藤忠礼、佐藤陽一、等ノ演説アリ

タルモ大同小異ニ付省畧ス

国際労働會議の偽瞞を見破れ

昨年我々が断然と、国際労働會議そのものを否認し、資本家と政府の共同責任を、力強く社會に宣言してより、ここに一年たつた。其間において、我々の偽瞞者の陰険な階級意識が更に巧妙な浄化を遂げたことは云ふ迄でもない、然るにこの勢力に恐れた資本家政府は例の国際労働會議代表者派遣期となつたいま、当世、資本主義国家のつき合まわり、政府代表者二名、資本家代表者一名、労働者代表者一名を是非共派遣しなければならなくなつたのである。昨年において、我々の反対に遭ひ苦しい闘争を振りさばく否認した経験上、今度は方法を変へし、体面をつけて我々に臨んで来たのである。

それはかうだ。「今年は千名以上の組合にも他ノ多名以上の勤務者ある工場と同じに代表者選出権を持つ」

成程そこには弾力に、政府及資本家の最も嫌ふ労働組合の存在が、当程まで承認された形式ノ下ニ扱はれてゐるが、その労働組合を認めたと称する政府は、偽造としてこれから、工場協議会はもとより、あらゆる手段をとつて我々の国際運動を阻遏しておるのである。即ち今度の選出方法は全く我々の勢力伸張を未だ恐れた彼等の最も悪辣な假面化し、従来を一歩も出づるものでない、故に我々は彼等が假面を利用して我々を欺かんとする巧妙な手段を、断乎として排し、国際労働會議そのものを否認するものである。

我々労働者にとつて、ゼネストは士気を鈍さす毒薬であるつてこの労働部會議は、まさに我々を欺瞞し、彼等資本家の悪謀を間に入らんとする。全くふざけた、これ程馬鹿々々しきものはない會議何ある

労働者諸君！我々は衷心より諸君の心に訴へる 自分自身の生